

「君は永遠に僕のもの!死なれちゃ困るから心臓を贈った..」。

— “特殊な血液型の元FBI捜査官” の心臓移植を巡る連続猟奇殺人!

映画・健康エッセイスト こもり 小守 ケイ

深夜のLA、「マッケーレブ!捕まえてみな! 903 472 568」という血文字メッセージが残された連続殺人事件現場。FBI心理分析官マッケーレブは、野次馬の中に不審な男を発見し懸命に追跡するが、あと一步の所で心臓発作で倒れ、必死に撃った銃弾は背に当たるも取り逃がす。その心臓病は重く、退職を余儀なくされた。

貴方の心臓、 私の妹の心臓よ

2年後、待ち続けた心臓移植を2ヶ月前に受けた彼は、ヨット暮しで毎日34錠の薬、体温と血圧の記録、毎週の術後検診の日々。「拒否反応なく、血中濃度も良好よ。プレドニゾンを減らすわ」。主治医の女医の言葉に安堵してヨットに戻ると、ゲラシェラという女性が来る。「妹のグローリア殺しの犯人を捜して!」。退職したと断ると、「新聞では貴方の手術は妹の死亡日。貴方も妹もAB型CMV(-)*だから心臓は妹からよ」。翌日、彼は古巣の女性刑事ウinstonに頼んで情報を貰う。『グローリアは通いなれたコンビニで、突然、頭を銃撃され、脳死で搬送された。その半月前、近くのATMで同じ手口で襲われたコーデルという男性は現場で死亡。通報者は“コーデルの死は救急車の遅れのせい”と証言』。彼は二つの事件に関連を感じた..。

捜査?拒絶反応や感染症で死ぬわよ!

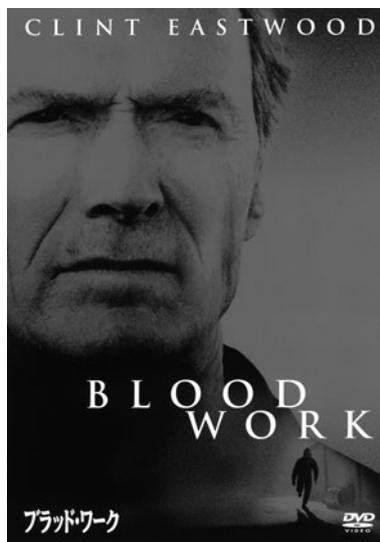
主治医は激怒するも、隣のヨットの男バディー

に運転のバイトを頼んで捜査開始。「顔色、悪いぞ。」バディーも心配する中、彼は胸を摩り、薬を飲んで聞き込みに戻る。コーデル宅で献血手帳を見つけると、グローリアの行動を調べた姉の“妹は隔月で献血していた”を思い出す。「接点は血だ!」。彼は直ちに車を病院へ向かわせる。

「高熱よ!捜査前は完璧だったのに」。主治医にコーデルの血液型の照会を頼むが、捜査開始以来の微熱が今は38.4度。「すぐ入院して!カテーテル検査が条件よ」。渋々横たわると、主治医は翌朝、「コーデルもAB型CMV(-)。グローリアともどもドナー登録者よ」。彼は即、飛び起き、検査機器を投げ捨てて病院を後にした。

二人は私のために殺されたのか..

グローリア殺害現場のコンビニ。捜査報告には『グローリアもコーデルも前頭葉を撃たれ、コーデルは救急車の遅れで死亡したが、グローリアは“親切な男”が救急車を呼んだお陰で脳死で搬送された』とあるが、ウinston刑事と監視カメラを検証すると、店の時計は3秒遅れで、犯人は撃つ前に救急車を呼んでいた!「そうか、“親切な男”が犯人だ!」。急ぎ署へ報告しようと店を出ると、通りに不審な車が!胸を押さえながら追いかけて、銃撃するも車は逃走!そういえば、コーデル事件現場のATMでは、コーデルの車から紛失したサングラスとグローリアの遺品から消えたイヤリングを付けた男が彼の側に居たことも..。「私は尾けられている」。



Blood Work. Artwork&Photography©2002 Warner Bros. Entertainment Inc. Making Blood Work, Other Supplementary Material, Package Design&Summary©2002 Warner Bros. Entertainment Inc. All right reserved.
配給:ワーナー・ブラザーズ
写真:元FBI心理分析官マッケーレブ

* CMV (-): サイトメガロウイルス抗体陰性

映画「ブラッド・ワーク」

C・イーストウッド監督&主演、02年、米

その頃、コーデル事件の通報者が、2年前にマッケーレブが心臓発作で倒れた場所で遺体となって発見された。側には再び血文字メッセージと、彼が当時撃った銃弾が！「犯人は2年前と同一人物。奴は私をもて遊んでいる…」。



Cinema View

さて、犯人は誰か？グローリアの遺児が血文字メッセージの数字“903 472 568”に「1が無い(NO ONE)」と気づいたことから事件は急展開し、解決に向かう。猟奇犯との駆け引きが見応え十分なサスペンス！原作はM・コナリー著「わが心の痛み」。米映画の巨匠イーストウッドの72歳当時の作で、役が病後の元捜査官の為アクションも無理ないが、不死身の彼、21年「クライ・マッチョ」でも91歳の雄姿を見せ、23年には新作の製作発表も！

サイトメガロウイルス (CMV) 未感染者は心臓移植の機会が少ない

心臓移植数は、日本では2010年に臓器移植法が改正されたことで、2022年までの13年間で707例、年間約60例に増加したが、欧米に比べるとまだ少なく、特に米国の年間3500例に対しては非常に少ない。その結果、手術に至るまでの待機期間は平均1002日で、米国の56日と比べ著しく長く、同期間に待機者の540名が死亡した。

臓器移植法では臓器移植に限り“脳死が人の死”と認められ、ドナーの臓器移植の意思表示、あるいは家族の同意があれば臓器提供が可能になり、米国とほぼ同じ条件になったが、日本で増えないのは“心停止を死”とする死生観の違いではないかと言われている。

心臓移植は、従来の治療では救命できない重症の心疾患患者が対象で、ドナーとABO型、及びCMV抗体の有無が一致し、リンパ球直接交差試験が陰性で、加えて心摘出後4時間以内の手術が条件である。CMV抗体が問題になるのは、陰性のレシピエントに陽性者の心臓を移植すると、移植心に残存するウイルスが術後の免疫療法で活性化し、致死的な重症肺炎や消化管潰瘍等を起こすためである。

米国では人種を問わず、AB型は3~4%しかおらず、またCMV抗体陰性者は40歳以上では約2割なので、AB型でCMV抗体陰性者は150人に一人になる。従って、心臓移植治療が一般的な米国でも心移植の機会は大変低い。

監修

公益財団法人
結核予防会 理事
総合健診推進センター 所長

みや ざき しげる
宮 崎 滋